

PDA 全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ 2022

一般社団法人パラメンタリーディベーター財育成協会(PDA)

開催日時:2022年3月20日(土)10:00-16:00

会場:オンライン

参加者:教員11名(岩手県立大東高等学校、秋田県立角館高等学校、山形県立東桜学館中学校・高等学校、明治大学付属明治中学校、東京都立大泉高校、東京都立武蔵高等学校附属中学校、東京都立富士高等学校附属中学校、品川女子学院、山梨県立甲府西高等学校、愛媛県立松山東高等学校、沖縄県立前原高等学校)



2022年度から始まる英語科新科目「論理・表現」では、活動の一つとしてディベートが新学習指導要領に明記されています。本研修では、授業でできる即興型英語ディベートを実践的に学び、指導力をつけていきます。

全国の中学校・高校の先生が一堂に会し、ディベートワークショップが始まりました。5回のディベートを通し、全教員がディベートとジャッジの両方を体験します。各実践の前にスピーチシートの使い方や、立論の構成、反論などについてレクチャーを受け、ディベート実践を通してその方法について学びました。ジャッジチームはディベート後、勝敗の説明や個人コメントなどを行い、勝敗の決め方や教育的配慮のあるコメントの手法について学びました。中高生に教育的配慮を持った即興型英語ディベートの指導ができる人財を認定していくPDA認定教育ジャッジ制度での資格の取得を目指した先生も多く参加されました。1日で全5ラウンドのディベート実践を体験されました。「宿題を廃止すべきである。」といった学校でも導入しやすい論題から、「ロシアへの経済制裁は、世界にとって害よりも利益をもたらす。」といった国際関係の時事問題まで取り扱いました。

第5ラウンド目には、PDA認定教育ジャッジ試験のディベート実技試験も行われました。



POIの様子



実践の様子

参加者の声

- ジャッジコメントが大変勉強になりました。自分は判定することが生徒たちのために苦手ですが頑張ろうと思います。
- まずは初めてディベートを経験できた！そして生徒が経験していた緊張感も理解できた！
- 自分がやってみて、生徒の気持ちや、プレゼンの足りない部分がわかった。
- 大変勉強になりました。zoom よりも対面が個人的には聞きやすい気がしまして、対面の機会が今後あればと思いました。
- 実際に試合を経験することがたくさんでき、多くの学びがあったため。
- ジャッジの先生方に励まされました。ありがとうございます。このような取組が広がっていくことを願っております。
- ジャッジの仕方が大変参考になった。
- 認定ジャッジもゆくゆくは挑戦したいです。
- 正直にいうと、全敗して悔しかったです（笑）自分の説明不足を痛感しました。即興で説明をしっかりするトレーニングを積んでいきたいと思います。また、フィードバックや実践の機会は少ないので、このような機会を年に何回か作っていただけると大変助かります。それと今日は自分も含め、立論があまり上手くできていないケースがあったので、立論の練習を最初にできるといいと思いました。今日は貴重な機会をどうもありがとうございました。
- 初めての参加でうまくできない点もあり、まだ勉強が必要だと感じました。他校の様子が変わり、まず教員が勉強ですね。
- 正直疲れました（笑）。ただ、内容はとても充実していて、多くのことを学べたので、さまざまな研修をこれまでも受けましたが、最も自分にとって役に立った研修になりました。今後どうこの経験を役立てていくか考えたいと思います。ありがとうございました。

以上